



2/11

寒空の下で元気にダッシュ！



第58回新居浜市民マラソン大会が国領川河川敷で行われました。

小学生から60歳代以上まで約800人の選手が、国領川河川敷の東側公園周回コースを回り、ゴールの東雲競技場を目指して、力いっぱい元気に走りました。

また、市外、県外からの参加者もあり、コース沿いでは、選手の家族や友人などが大勢詰め掛け、頑張る選手たちに大きな声援を送っていました。

2/12

新居浜の魅力をアピール



松山市総合コミュニティセンターで「ふるさとCM 大賞えひめ'17」の公開収録が行われました。MCはタレントの友近さんと藤崎マーケットの田崎さん。県内市町から参加した25団体が、壇上で各市町の魅力をアピールをしました。

新居浜市からは、Team 浜ちょボがダイヤモンド水(地下600mから吹き上げている自噴水)を題材にした「ダイヤ湧く町」という作品を製作し参加しました。壇上では、MCとの軽妙なトークで会場を盛り上げ、ベストパフォーマンス賞を受賞しました。

2/12

異文化を身近に感じて



各国の歌、踊り、民族衣装、遊びなど異文化体験を楽しみながら市民と外国人が交流する新居浜グローバルパーティーがウイメンズプラザで開催されました。

今年もボランティアスタッフが手作りした世界のお菓子を囲んで各国の衣装を紹介、さまざまなダンスの披露や音楽演奏などが行われました。また、着付け、銅細工、折り紙など日本体験コーナーがあり、参加者は異なった文化に触れながら国際色豊かな人々との交流を深めました。

2/17

ものづくりブランドに認定



第5回新居浜ものづくりブランド認定式が開催されました。

平成25年度より、地域が保有する優れた製品や技術を「新居浜ものづくりブランド」として認定し、全国にPRするとともに、販路開拓や受注拡大の支援を行っています。

今年度は、株式会社コスにじゅういち、有限会社佐々木組、株式会社ジンノ工業、株式会社ニューウェイブの4社から5つの製品・技術を認定しました。現時点で、認定数は37社49製品・技術となりました。

2/20

ちいさなベビー服との約束



第62回青少年読書感想文全国コンクール(小学校高学年の部・自由読書)において、松本海璃(角野小5年)さんの感想文(ちいさなベビー服との約束)が毎日新聞社賞を受賞し、報告のため市長を表敬訪問しました。

松本さんは「授賞式後のパーティーで、本(ちいさなちいさなベビー服)の著者や中央審議会の方が声を掛けてくださり、とても嬉しかったです。また、来年も頑張りたいと思います」と感想を述べました。

2/23

JICAボランティア帰国の報告



青年海外協力隊にて平成27年1月から2年間パプアニューギニアのインターナショナルスクールで体育授業の実施に従事した吉松正彦さんが、帰国挨拶のため市長を表敬訪問しました。

吉松さんは「先生の授業でこんなことできたよと嬉しそうに話してくれる生徒がいて、やりがいを感じました」と語りました。

これに対し市長は「2年間ご苦勞様でございました。現地や日本のために大変貢献されたのではないかと思います。これからも末永くご活躍していただきたいと思います」と激励しました。

2/23

障がい児のための防災手引きが完成



平成28年度の市との協働事業により「生きぬくために～障がい児のための防災の手引き～」を作成したことを報告するため、「障がい児とともに歩む会めぐり」の(写真左から)細川美幸さん、長野志津さん、佐伯利恵さんが市長を表敬訪問しました。

細川さんは「知的障がいや発達障がいがある子どもたちは、危険認知度が低く、危険を察して逃げるのがとても難しいです。そうした子どもたちや家族のために、特化した手引きを作成しました」と作成の経緯について語りました。

3/5

地域住民とともに地域を守る



平成29年新居浜市消防観閲式が、山根市民グラウンドで開催されました。この観閲式は、消防団活動に対する市民の理解と協力を得るために、日頃の訓練を重ねた技術を披露するとともに、功績をたたえ表彰を行い、消防団員の士気を高め、今後の活動を充実させようと開催されています。

この日集まった17分団、約750人の消防団員は、ポンプ操法、梯子乗り操法、一斉放水などを披露し、会場からは大きな拍手が送られました。